

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月15日

氏名			
所属	外国語学部 ( ) 研究科	スペイン語学科・専攻	3年次
派遣先大学	メキシコ国際大学		11ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他（家主の家の一室を借りた）
2	住居形態の詳細を教えてください。	例）ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り（2LDK）、広さなど （家主と家主の息子と敷地内の離れにある部屋にメキシコ人が一人、賃貸の部屋数は離れの部屋を合わせて4つ（2つはバスルーム付き、他はバスルームシェア）、家主の家族の部屋が2つ、1LDK。コンドミニアムでプールと庭付き。）
3	入居時手続き	例：Housing Officeでデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る （手数料は出発前に銀行にて海外送金。）
4	費用（月額）	2400（メキシコペソ）（食費 食費含まない／月）
5	支払方法	入居日から1か月単位で現金支払い（例：月ごとに現金で、クレジットカードなど）
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ（共同） <input checked="" type="checkbox"/> トイレ（個別） <input type="checkbox"/> シャワー（共同） <input checked="" type="checkbox"/> シャワー（個別） <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他（プール、庭）
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他（ ）
8	周囲環境	例：近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など （徒歩10分圏内にコンビニ、スーパー、レストラン、ラバンデリア（洗濯屋）、文房具屋などがある。市内のバスのバス停は徒歩5分（バス停でなくてもどこでもバスの乗り降りが可能）、長距離バスはタクシーまたはUBERで15～20分。）
9	アクセス	例：大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 （徒歩10分）
10	留学中の住居に関して アドバイス	（今後留学をする学生に対して）： （アパートなのか家主の家の部屋を借りるのか、どちらのタイプなのかを確認すると良い。後者は、ホームステイではない。一人暮らしが初めての人には、ホームステイか家主の家の部屋を借りるタイプを勧める。）
11	引越された方は引越	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート

	し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> その他 ( )
12	詳細を教えてください	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ( )

## II. 通信環境について (該当の項目を選択、または入力してください。)

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	プリペイド式
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例: ショッピングモールの電気屋に行き SIM を購入 (ショッピングモールの携帯電話会社にて携帯本体と SIM カードを購入。)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

## III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		※現地通貨で記入。( ) 内に通貨単位を記入すること。	
1	宿舍費	2,400	(メキシコペソ) /月
2	食費	5,331	(メキシコペソ) /月
3	交通費	500	(メキシコペソ) /月
4	通信費	100	(メキシコペソ) /月
5	娯楽費	3,500	(メキシコペソ) /月
6	図書費	0	(メキシコペソ) /合計
7	学用品 (教科書など)	2,000	(メキシコペソ) /合計
8	被服費	1,000	(メキシコペソ) /合計
9	医療費	0	(メキシコペソ) /合計
10	雑費・その他	0	(メキシコペソ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む) ※日本円または現地通貨で記入。			
11	出願料・宿舍デポジット	2,400	(メキシコペソ) /合計
12	ビザ申請関連費	0	(メキシコペソ) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	286,600	(円) /往復
14	その他	0	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	795,385	(円) /合計
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 40,000 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: ) <input type="checkbox"/> 海外送金		

	□ その他 ( )	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	手続き方法・利点・欠点	
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	キャッシュレス文化なのでクレジットカードがあると便利である。現金の引き落としよりも手数料が安い。しかし、チップ文化なので現金も常に必要。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	C18 (11か月分で 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けなかった
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	選択してください。 その他 ( )
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	下痢止め（水道水は飲めないの で、野菜などを薬品を使用せずに 洗った時、屋台で食べた時など、 慣れるまでは必要である）、頭痛 薬（標高が高い所や、環境の変 化）、酔い止め（車社会のため、 移動はほぼ車・バス（薬局でも購 入できるが日本製品の方が安心 するという人は、多めに持参す るといい）。)

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 衣服、筆記用具、授業で使用していた資料・教科書、薬、インスタント食品、お土産、化粧品（数 か月分）、コンタクトレンズ（11か月分）、パソコン、携帯、折り畳み傘
2	現地で購入したもの 衣服、携帯・SIMカード、化粧品
3	(自分は持っていかなかったが)日本から持っていったら便利だと思ったもの 化粧品（メキシコで買えないものやアレルギーがある人）

#### VI. 留学先で困ったこと

水不足・停電が起こる、虫・サソリがいる、チップ制度
---------------------------

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

メキシコでの生活で特に不便なことはあまりない。交通機関は、電車はないが UBER やバスで移動 できる。夜間での移動や貴重品の管理に気を付けてさえいれば、不自由なく生活できる。
---

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	3 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	メキシコ国際大学 (メキシコ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Idioma	履修言語	英語	
留学期間	2018 年 8 月～2019 年 6 月			
報告書提出日	2019 年 7 月 14 日			

### 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週)	1 月 24 日 ～2 月 1 日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、……
Fall Semester	8 月 20 日 ～12 月 20 日 (16 週)	12 月 10 日 ～12 月 20 日	国際科でシラバスを貰い、国際科でその場で留学担当者として履修登録を行う。オリエンテーション期間として最初の 2 週間は履修の変更が可能。留学担当者、先生方に相談し国際科で留学担当者として履修の本登録を 2 週目に行う。
Spring Semester	1 月 21 日 ～6 月 14 日 (16 週)	5 月 27 日 ～6 月 14 日	Fall Semester と同様新たに国際科でシラバスをもらいその場で履修登録を行う。オリエンテーション期間も同様に最初の 2 週間は履修の変更が可能。留学担当者、先生方と相談して国際科で留学担当者として履修の本登録を 2 週目に行う。

#### 1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。

【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 <b>合計時間の計算方法は[⑥] 【参考資料】授業時間数について]をご参照ください。</b>
		1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	
Fall Semester	Intercultural Studies III	48 時間	基本的には講義形式で週 2 日。講義内容は、世界の様々な宗教やコミュニティ、社会から Human Thinking について理解する。指定された本や文献を読みディスカッションをしたり、ゲスト講師 (大使など) による講義が行われた。中間試験・期末試験はエッセイだった。不定期にレポートやエッセイもあった。
		1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Fall Semester	English Culture and Civilization	48 時間	基本的には、指定された本、文献を参考に生徒がプレゼンテーションを行い、ディスカッションにより理解を深める形式で授業が行われた。講義内容はイギリス史全般。中間試験は選択、期末試験はエッセイであった。不定期にレポートがあった。
		1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Fall Semester	Product and Services Development	48 時間	講義が週 2 日。講義内容は、製品やサービスの製作から商品化するまでの流れなどであった。中間試験は筆記、期末試験はプロジェクトの発表であった。プロジェクトは製品開発とその PR、製作発表であった。
		1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Fall Semester	Intercultural Communication	48 時間	指定されたテーマについて各グループがプレゼンテーションを行った。テーマの内容は、異文化コミュニケーションの基礎とインターナショナルビジネスについて。試験はなく、全てプレゼンテーションによる評価であった。
		1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Fall Semester	Intermediate Spanish II	60 時間	接続法を中心に、文法を繰り返し復習した。毎週 20 個の単語リストの作成と金曜日に試験を行った。
		3 (時間/回) × 5(回/週) × 4(週)	
Fall Semester	Spanish Conversation and Composition I	60 時間	全ての文法の復習と、長文読解、その文章についてのディスカッション。毎週 20 個の単語リストの作成と金曜日に試験を行った。
		3 (時間/回) × 5(回/週) × 4(週)	
Fall Semester	Spanish Conversation and Composition II	60 時間	全ての文法の復習と、長文読解、その文章についてのディスカッション。不定期にプレゼンテーションを行った。毎週 20 個の単語リストの作成と金曜日に試験を行った。
		3 (時間/回) × 5(回/週)	

		× 4(週)	
Spring Semester	Advanced Spanish (General Grammar) I	48 時間	基本的には講義とプレゼンテーションが週 2 日。講義内容は、言語学とスペイン語の文法について。中間試験・期末試験は全て筆記。不定期にレポートがあった。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Spring Semester	International Business	48 時間	基本的には講義が週 1、ビデオを見てディスカッションし講義内容の理解を深める時間が週 1 日。講義内容は、国際ナショナルビジネスの基礎知識。中間試験・期末試験は筆記。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × (週)	
Spring Semester	Development Cooperation	48 時間	基本的には講義が週 1、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートが週 1 日。講義内容は国際協力の基礎知識、歴史、現在行われている国際協力について。中間試験はレポート、期末試験は小論文だった。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Spring Semester	Public External Relations	48 時間	基本的には講義が週 2 日。講義内容は国際ナショナル PR の基礎知識。中間試験は、指定された本のサマリーと筆記試験、期末試験はプロジェクトだった。プロジェクトは国を一つ決めてその国の PR についてのレポートだった。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Spring Semester	Tourism Marketing	48 時間	基本的には講義が週 2 日。講義内容は、観光産業についての基礎知識とマーケティング方法について。不定期に指定された本のサマリーとディスカッションがあった。中間試験・期末試験は筆記。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Spring Semester	Advanced Conversation and Composition I	60 時間	文法全体の復習に加え、ことわざや長文読解、それについてのディスカッションを行った。毎週 20 個の単語リストの作成と金曜日に試験を行った。
		3(時間/回) × 5(回/週) × 4(週)	
Spring Semester	Advanced Conversation and Composition II	60 時間	文法全体の復習に加え、ことわざや長文読解、それについてのディスカッションを行った。毎週 20 個の単語リストの作成と金曜日に試験を行った。
		3(時間/回) × 5(回/週) × 4(週)	
Spring Semester	Latin American Culture and Civilization	50 時間	教科書 (本の抜粋) を読み、毎日サマリーを作成。授業ではそれについてディスカッションし理解を深める。毎週 10 個の単語リストと金曜日に試験を行った。
		2(時間/回) × 5(回/週)	

		× 5(週)	
Spring Semester	Mexican History	40 時間	教科書（本の抜粋）を読み、毎日サマリーを作成。授業ではそれについてディスカッションし理解を深める。毎週金曜日にその週に学んだことのレポート、期末試験にプレゼンテーションを行った。
		2(時間/回)	
		× 5(回/週)	
		× 4(週)	

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

## 1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

大学：授業によるが、教科書や資料を事前に読むことが予習兼宿題であったので、指定された資料を読みある程度理解した上で授業に参加した。専門用語が多いので単語調べなどは必ず授業の前に行った。ディベートやディスカッションの多い授業だったので、理解した上で自分の意見や考えもある程度まとめて授業に参加した。

語学学校：毎日予習兼宿題が課された。それを通して理解するとともに、単語調べや歴史、文化、人物についての背景など簡単なことをおさえてから授業に参加した。歴史や文化の授業では日本と比較し、ディスカッションを行うので、日本についての予習や自分の意見や考えをある程度まとめてから授業に参加した。復習として、アプリケーションを利用して単語のリストを作成した。

## 1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

英語：専門的な授業、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイなどを通して、それぞれのシチュエーションに適した表現を身に付けることができたと思う。留学前にある程度のレベルはあったが、留学を通してアカデミックレベルになったと思う。元々英語とスペイン語両方を学ばなかったため、留学生同士では積極的に英語で会話するなど、スペイン語とのバランスを取りながら、英語のレベルアップに努めた。

スペイン語：留学前は、文法はある程度理解していたが、会話はあまりできなかった。語学学校での授業では、文法の理解を深め、会話での表現力を身に付けること、ボキャブラリーを増やすことを中心に前期は努めた。その結果、語学学校からは DELE B2 のレベルがあることが認められた。後期では、スペイン語の文献や資料の読解、エッセイの作成、プレゼンテーションができるようになった。ディベートやディスカッションでも、自分の意見や考えを言えるようになった。

## 1.4 研究について（※大学院生のみ記入）



## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

英語：大学レベルでの学習を通して、文献や講義の理解が深まった。ディベートやディスカッションを通して、英語で自分の意見や考えを表現する力、他の人の意見や考えを理解する力がついたと思う。また、エッセイではディベートやディスカッションとは異なり文章として自分の意見や考えを、適切に表現する力がついた。

スペイン語：文法を繰り返し復習することで、用法だけでなくシチュエーションごとの用法や表現方法が身に付いた。ディベートやディスカッション、プレゼンテーションを通して、自分の意見や考えを表現する力がついた。日常生活の会話を通して、メキシコのスペイン語の表現を学ぶことができた。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

英語：できることなら、留学へ行く前から授業で積極的に発言をしたり、常に自分の意見や考えを持ち、どの言語でもいいので言葉にして伝える練習をしたほうが良いと思う。そうすれば、スムーズに講義に入れるし、現地の学生や他の留学生とも楽しく充実した学習ができると思う。

スペイン語：英語と同じく、常に自分の意見や考えを聞かれることが多いので、スペイン語で表現できなくても、まず自分の意見や考えを持つことが大事だと思う。語学学校はレベル別でプレイスメントテストにより決められるので、留学前に無理に勉強するより、知っているものをきちんと理解し、身に付いているかを確認するほうが良いと思う。

### 2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

メキシコでの留学生活で感じたものは、自分から行動することが大事だということである。どんなに小さな疑問や質問でも、放っておくのではなく自分から聞いたり調べたりしたほうが良い。学習面だけでなく、生活面でもそういった、自分の行動力次第で留学生活が変わってくると感じた。何事にも積極的に行動し、前向きな姿勢でいたことで、どんなに難しいことも乗り越えられたし、どんなに忙しくても自分のやりたいこともできたと思う。

#### 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

メキシコの物価は日本と比較するとかなり安いので、もっと週末や長期休暇を利用して旅行したかった。メキシコはとても広く多種多様な文化が存在するので、地域比較をしたりもっとその土地特有の文化を体験したかった。

生活では、ホームステイから同じ家で部屋を借りるだけの一人暮らしに結果的に変わったが、立地条件、大家さん、部屋の状態が良く満足していたので引っ越しはしなかった。しかし、学生が多く住むアパートなどで暮らしたほうが、友達も増えるし、旅行やその街もよく知れると思う。留学生だけでなく、現地の学生との交流を増やすことができるので、私はアパートやシェアハウスなどを勧める。

学業への取り組み方は、自分の努力次第だが、留学生同士で助け合ったり、現地の学生に手伝ってもらったりすると楽しく取り組むことができる。一人で頑張ることも大事だが、助け合って学習する方が効率的だし、結果的に自分の語学力の向上にもつながると思う。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnote のプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。